

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 100 号	氏名	陳 蒙
学位審査委員	主 査 有 吉 紅 也 副 査 河 野 茂 副 査 平 山 壽 哉		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>慢性肺疾患患者における肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン(PPV)接種前後2年間の抗肺炎球菌抗体反応の経時的変化を明らかにすること、またPPVに対する応答者および低応答者の臨床的特徴を明らかにすることであり、博士論文として妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>九州地区共同研究参加施設13ヶ所における慢性肺疾患患者84症例を対象とし、23価PPV接種前と接種後2年までの血中血清型6B, 14, 19F, 23F特異的IgG抗体濃度を第3世代ELISA法にて測定しており、また抗体アビディティーについても標準法に従い評価を加えており妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の結果</p> <p>いずれの血清型についても血清型特異的IgG濃度はPPV接種後1ヶ月に有意に増加したが、接種後6ヶ月までに急速に減衰していることが判明した。また、本研究においては31%の症例が低応答者であったが、その臨床的特徴は明らかではなかった。これらの結果から慢性肺疾患患者に対するPPV再接種の必要性について、適切に考察されていた。</p>			
<p>以上より、本論文はPPV接種後の抗肺炎球菌抗体濃度の経時的推移について明らかにし、ワクチン低応答者の特徴について比較検討した点において新規性が認められ、慢性肺疾患患者の診療の向上に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			